

国際ロータリー第2770地区  
第11グループ



川口 RC  
Weekly Report

No. 07

● 定例会  
第2908回  
2019年9月5日配布

● 事務局  
〒332-0012 川口市本町 1-18-5 NTT ビル 1F  
TEL 048-222-0124 FAX 048-222-0118  
http://www.kawaguchi-rc.com  
E-mail krc2770@plum.plala.or.jp



2019-20年度  
会長：渡部 行光  
幹事：平田 修一

Topics & Information

● 派遣学生月例報告書 8 月分

派遣学生の齊藤美幸さんよりオーストリアより月例報告が届きました。

1) 健康状態:

オーストリアに到着し日本の夏との違いに驚きました。オーストリアの気温は25～30度前後で、日本と違い湿度が少ないのでとても過ごしやすい気候です。朝は約15度まで冷え込み、体感気温は日本の秋ぐらいの肌寒さです。寒さ対策としてパジャマは長袖を着るようにしています。毎日しっかり3食食べていて、留学前は食が口に合うか心配でしたが、どの料理もとても美味しいです。その料理の大多数を締めるのがパスタです。日本にいたとパスタは2カ月に一度ぐらいの頻度でしたが、こちらは週4回パスタです。ですが様々な形のパスタ、ソースがあるので飽きません。毎日プールで泳いだり、WORK OUTをしているのでおかしなことに日本にいた時より体重が減りました。しっかり食べて、しっかり運動して、毎日草原を走っています。体調はすこぶる良く、極めて健康体です。今後も体調管理と体重管理を心がけています。

2) 通学・勉学状況:

学校は9月から始めるためまだ通っていませんが、ホストシスター二人と同じ学校なので交通面で心配するような事はなさそうです。地元の11歳～18歳の子供達が通う学校なのでみんなが仲の良い学校だと伺っています。先日校長先生とお会いし1年間の挨拶と学校見学をして参りました。これからこの学校に通うのかと期待や不安などいろいろな感情で胸一杯になりました。勉学に関しては、丁寧なことにホストファミリーが毎日ドイツ語をマンツーマンで教えてくれます。またオーストリアに到着して2日後にはホストマザーから「あなたはドイツ語を勉強してきたから今後は英語は控えてドイツ語を1日でも早く習得できるようにドイツ語で会話しましょう。」との決まりができ、どの会話も全てドイツ語の単語を強調してくれ、また会話の中から「この単語は何だっけ」という風に繰り返してくれる毎日単語が身についていくのがこの身で感じられます。

3) 家庭生活:

到着後ホストファミリーが視界に入った瞬間、長時間フライトの疲れと「無事に着いた」という安堵から涙が溢れました。ホストファミリーは本当に私に優しく接してくれ、また愛のある人達です。オーストリアでは挨拶がハグまたは握手なので、寝る時はいつもホストファミリーとハグをし、おやすみと一言添えるのが日常です。またご飯は家族全員で食べてご飯の後はみんなで片付けをします。自分の部屋はすごく綺麗でとても気に入っています。到着してからまだ1週間しかホストファミリーの家で生活していませんが、その短い時間の中で私をたくさんの場所に連れて行ってくれました。外の景色は海外の絵本に出てくるぐらい綺麗です。どの建物も大きくて年季を感じます。またホストシスターとのランニングコースには、牧場があり牛はもちろん馬や羊もいて自然と都会の距離が近くとても良い立地です。

4) ロータリーの行事参加:

オーストリアは2週間のロータリー主催のドイツ語キャンプがあり、ただいまドイツ語合宿の真っ只中です。(8月30日現在)私と同じような各国からの留学生と一緒に生活しています。ドイツ語勉強の授業はビギナークラス、ミドルクラス、アドバンスクラスの3つに分かれています。私はビギナークラスに入りました。その授業は英語で行われていますがとても楽しいです。ご飯はバイキング式で毎日毎食違うご飯を好きな分だけ取り、食べれるのでとても嬉しいです。部屋は大学の寮を借りていてチリの留学生と1つの部屋をシェアしています。彼女は常識があるので一緒に生活していて苦になりません。その寮はザルツブルクまで電車で約15分の距離なので友達とショッピングに行くことが多いです。ザルツブルクはモーツァルトの誕生の地で観光地としても名高くショッピングには最適です。またザルツブルクに行ったら必ず1€のアイスクリームを友達と食べるのが日課です。

5) その他:

オーストリアには地区が二つしかないのでもつもの地区合同で行事を行います。また、オーストリアはアメリカやカナダなどの英語のネイティブスピーカーの留学生が多く、このドイツ語キャンプに来て自分の英語力の無さに驚きました。また今年には日本人どころかアジア人も私以外に一人もおらず、とても孤独を感じました。初日はみんなが英語を流暢に話しているのを見て「どうして自分はこんなにも話せないのか」と悔しくて悲しくて孤独で涙が止まりませんでした。2週間が経過した今も彼らが何を話しているのか全ては理解できませんが、仲の良い友達ができました。留学生はみんな優しく、面白く毎日笑いが耐えませんが。最初の数日は辛くて堪りませんが、今はこのままずっとこの生活でも良いかも。と思ってしまうほど毎日楽しいです。これから学校も始まるので勉学によりいっそう力を入れつつ、学校で新しい友達ができるよう明るく前向きに今後も過ごしたいです。ドイツ語キャンプが辛くてどうしたら良いかわからない時にROTEXの先輩に連絡をしました。やはりもうすでに経験をしている先輩は本当にすごいです。的確なアドバイスとみんな同じ道を通して今があるよという風に慰めてくださり、事を前向きに考えられました。先輩は偉大です。まだ始まったばかりの、この冒険を精一杯楽しみます。

6) 今月は何回カウンセラーと会いましたか? ( 1 回)



次回予定 9月12日 ガバナー公式訪問  
会場/そごう川口店ダリアルーム  
点鐘/12:30

ガバナー公式訪問/クラブ協議会

次々回予定 9月19日 定例会  
会場/そごう川口店ダリアルーム  
点鐘/12:30

卓話: プロデューサー 国枝秀美 様

あいさつ

今週の豪雨災害は本当に厳しいものようです。大雨特別警報ということでレベル5、災害が現に起きている状況ということで、避難も難しいのではないのでしょうか。まだ続いているようで安全に注意してほしいと思います。このところの異常気象は地球の温暖化などが関係しているのでしょうか。

さて、日韓関係についてどのように見ておられるのでしょうか。実は6月25日に、地区ロータリーから第15回日韓親善会議の案内が来ておりました。会長、幹事、地区役員あてです。開催場所は仙台、開催日は9月28日(土)です。6月25日というすでに徴用工問題(18年10月)、レーダー照射問題(18年12月)などがあって、韓国の反日運動も盛んで、韓国に対する不信感も強くなっているところでした。それでもロータリーの国際交流での日韓交流ですから特に意識せずいいことだと思っています。このような国際交流は政府の動きとは別に進めるべきだと思います。しかし、神経質な面もでてきましたね、両者の言い分もずれていて、いったい落としどころはあるのでしょうか。ただ言えるのは、もともとあまり仲が良かったわけではないのでしょうか。親善のための努力はまだ必要ようです。

9月12日は公式訪問例会です。みなさんエンドポリオ Tシャツでお迎えしましょう。今年のガバナーは自信がポリオだったことで、ポリオ根絶のために力を注いでいるのですが、ポリオ根絶活動からロータリーの活性化を働きかけていく、という地区運営方針です。10月23日はさらにそのポリオデーということでグループをあげて募金活動を行います。よろしくご協力の程お願いします。

問題はその先です。24日から26日まで(金、土、日)川口市市産品フェアをスキップシティで行います。今年はその市産品フェアに川口ロータリークラブとして参加いたします。最初、職業奉仕委員会が職業奉仕委員会としてイベントを考えていたんですが、この市産品フェアの2コマを非営利団体ということで無料で貸してくれるということで、職業奉仕委員会をすこし拡張させて、ロータリーのPRも兼ねて公共イメージ委員会も共同で、やります。こちらも多面的なご協力をお願いします。

渡部 行光

